

平成30年度 第1回学校評議員会記録

日時：平成30年6月1日（金）

10：30～12：00

場所：本校第1会議室

1 開会

2 学校長挨拶

3 評議員および出席者紹介

4 議題

- (1) 平成30年度学校概要について
- (2) 平成30年度学校経営計画について
- (3) 平成30年度各学部等の具体的取組について
- (4) 意見交換・提言

5 評議員からのご提言

A評議員：

- ・昨年度の学校評価の中で保護者から指摘のあった「体力の向上」について、小学部では楽しんで体を動かすという目標を掲げ、取り組んでいるのはとても大事なことである。

B評議員：

- ・先生方の手話の技術、指導方法がレベルアップしていると感じた。
- ・学部の運営方針については掲げて終わりではなく、時折見返して生徒の指導につなげていただきたい。

C評議員：

- ・授業参観から、先生方が手話を使い、子どもたちの様子を確認しながら丁寧に指導しているのをうれしく思った。聴覚障がい者に関する法律の制定、改正が行われ、岩手でも手話言語条例の運動が進んでいる中、聴覚支援学校も社会に合わせて変わっていく必要があると思う。
- ・子どもたちが社会に出たときに、社会に対応できないということが心配されるので、教職員も社会の様子を把握し、聞こえない子どもたちが将来社会に出た時を想像して子どもたちを育ててほしい。
- ・「自分の障がいを知る」ことが大切である。相手に伝えるためにどうすれば良いか、どのようなサポートが必要か等を知り、自ら伝える力をつけることが大事である。

D評議員：

- ・交流及び共同学習を通して、子どもたちは「相手の気持ちを知らう」とか、「伝えよう」「一緒にやろう」という気持ちが高まっているように感じる。子ども同士がコミュニケーションを図っているのを見ると、小さいうちに一緒に学ぶことが大事であると感じる。

6 学校長より

7 閉会